

# 輸出用米新品種「越南305号」

## 1. 概要

少子高齢化や人口減少、パンや麺類への嗜好、コロナ渦における外食の減少などにより、国内でのコメ消費は低迷しています。一方で、香港やシンガポールでは年間60万トンのコメ消費があり、全量が輸入されていますが、日本米のシェアは1%に過ぎません。

そこで、輸出用米として多収でありながら「コシヒカリ」並みの良食味性を兼ね備えた新品種「越南305号」を育成したので紹介します。

## 2. 品種特性(表)

「越南305号」は、「コシヒカリ」と同じ熟期中生です。

稈の長さは「コシヒカリ」より短くて倒伏に強く(写真)、千粒重は24.1gで「コシヒカリ」より2.5g大きいです。

「コシヒカリ」に比べて23%多収です。

全国の栽培試験でも、「コシヒカリ」、「キヌヒカリ」や「つや姫」等、各県の標準品種と比べ平均で12%多収でした(図1)。

稲が実る時期の高温に対しては、「コシヒカリ」の“やや弱”に対して“やや強”です。

葉いもち、穂いもちへの抵抗性は“やや弱”で、「コシヒカリ」と同程度です。

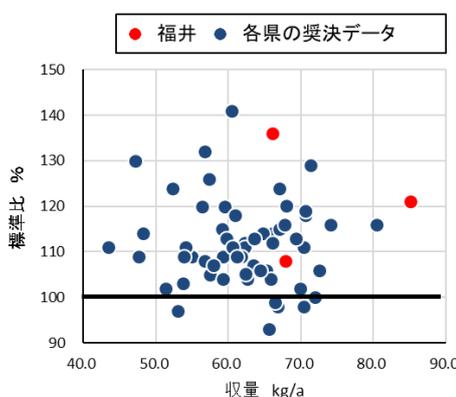


図1 全国の奨励品種決定調査結果(2019-2021年)



越南305号 コシヒカリ

## 3. 食味

「越南305号」のアミロース含有率およびタンパク質含有率は「コシヒカリ」と同程度です。

食味試験では、「コシヒカリ」より白さとつやが優れ、粘りは同じ位で、極良食味です(図2)。

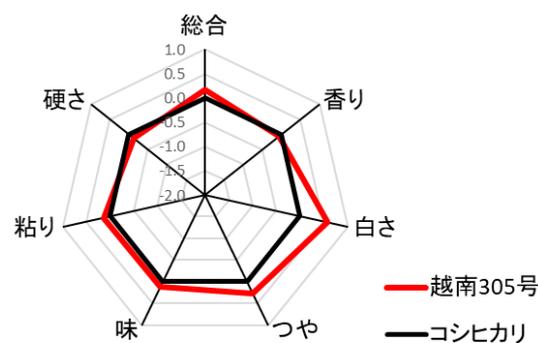


図2 食味試験結果(2014~2021年 10回の平均)

表 越南305号の品種特性

品種名	出穂期 月.日	成熟期 月.日	稈長 cm	精玄米重 kg/a	比率 %	耐倒伏性	耐病性		千粒重 g	高温登熟 耐性	タンパク質 含有率 %	アミロース 含有率 %
							葉いもち	穂いもち				
越南305号	7.29	9.02	74	67.9	123	強	やや弱	やや弱	24.1	やや強	6.1	13.7
コシヒカリ	7.28	8.31	96	55.2	100	弱	弱	やや弱	21.6	やや弱	6.4	14.3

2014、2015、2019-2021年平均。収量調査籾は1.9mm。移植日：2014年：5月7日、2015年：5月8日、2019年：5月7日、2020年：5月7日、2021年5月6日。施肥：2014-2015年 0.80kgN/a、2019-2021年 0.90kgN/a